

令和7年9月10日
北九州市財政・変革局
北九州市総務市民局

報道機関 各位

「北九州市の財政状況に関する意識調査」を行いました
～令和7年度第2回市政モニターアンケート～

1 調査案件

第2回「北九州市の財政状況に関する意識調査」
(財政・変革局財政課)

2 公表資料

第2回「北九州市の財政状況に関する意識調査」
(財政・変革局財政課)
⇒ 結果概要及び調査報告書(別添のとおり)

3 参考資料

「市政モニター制度」について(別添のとおり)

【問い合わせ先】

■ 調査案件の内容について

《第2回》「北九州市の財政状況に関する意識調査」
財政・変革局財政課

093-582-2002 小島・木下

■ 市政モニター制度について

総務市民局広聴課

093-582-2527 森部・南谷

市政モニターに関すること 総務市民局広聴課 担当：森部、南谷 TEL：093-582-2527	アンケート内容に関すること 財政・変革局財政課 担当：小島、木下 TEL：093-582-2002
--	--

令和7年9月10日

令和7年度 第2回市政モニターアンケート
「北九州市の財政状況に関する意識調査」 結果概要

本市では、市政変革に関する取り組みを進めています。
そこで、今後の取り組みの参考とするため、財政に関する皆様の関心度や理解度などの現状についてのアンケート調査を実施しました。

I 調査概要

調査対象者 市政モニター102人（うち、回答者91人 回収率89.2%）
調査実施日 令和7年6月16日～令和7年6月27日
実施方法 インターネット調査

II 調査結果概要

(1) 北九州市の財政状況について

まず北九州市の財政への関心度について、「関心がある」と回答した方は91.2%でしたが、年齢別の20歳代以下は66.7%と比較的関心が低くなっています。

また、本市が令和6年度より力を入れている「財政の模様替え」について、「知っている」方は34.1%となったほか、財政に関心がない方の62.5%は「そもそも情報が入ってこない」と回答しています。

年代を問わず、市民の皆様に分かりやすい情報が行き届くよう、情報発信を強化していく必要があると改めて認識しました。

(2) 冊子「マンガで読める！わかりやすい北九州市の財政」について

財政に関する情報発信として作成している、冊子「マンガで読める！わかりやすい北九州市の財政」について、「読んだことがある」方は31.9%で、年齢別にみると、60歳以上では50%と比較的高くなっています。

また、読んだ方の82.8%が、冊子を読み、本市の財政運営への理解が「深まった」と回答しており、漫画を用いたわかりやすい表現を工夫していることなど、一定の効果が得られていることがうかがえます。

(3) 市政変革の取り組みについて

市政変革に期待することとして、「市の成長に向けた重点的な投資、そのための現行事業の見直し」が60.4%、「利用者目線に立った、公共施設や窓口でのサービス向上」が57.1%、「安定した財政基盤の確立」が56.0%など、北九州市が進めている市政変革の取り組みに賛同するご意見を多くいただけたものと受け止めています。

一方で、市政変革を「知っている」方は36.3%、X会議（市政変革会議）をYouTubeで公開していることを「知っている」方は20.9%と、一定数の方に関心を持っていただいておりますが、この周知には、まだ努力の余地があると認識しています。

今後、さらに多くの方にこの取り組みを知っていただけるよう、必要な情報発信に努めながら、北九州市が未来のために今、変革すべきテーマについて議論を深め、実行していきたいと考えています。

令和7年度
第2回市政モニターアンケート

「北九州市の財政状況に関する意識調査」

総務市民局広聴課

目 次

I 調査の概要	1
II 市政モニターの構成	1
III 調査結果	2
(1) 北九州市の財政状況について	2
(2) 冊子「マンガで読める！わかりやすい北九州市の財政」について	14
(3) 市政変革の取り組みについて	18
IV 全体考察	23

I 調査の概要

調査対象者	市政モニター102人	
回答者数	91人（回収率89.2%）	
調査実施日	令和7年6月16日～令和7年6月27日	
実施方法	インターネット調査	
調査実施課	総務市民局広聴課	TEL 582-2527
調査依頼課	財政・変革局財政課	TEL 582-2002

II 市政モニターの構成

	合計	男性	女性		合計	男性	女性
全体	102 (100.0%)	44 (43.1%)	58 (56.9%)	区別			
10歳代	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	門司区	13 (12.7%)	7 (6.9%)	6 (5.9%)
20歳代	6 (5.9%)	4 (3.9%)	2 (2.0%)	小倉北区	21 (20.6%)	11 (10.8%)	10 (9.8%)
30歳代	14 (13.7%)	4 (3.9%)	10 (9.8%)	小倉南区	21 (20.6%)	8 (7.8%)	13 (12.7%)
40歳代	22 (21.6%)	7 (6.9%)	15 (14.7%)	若松区	4 (3.9%)	1 (1.0%)	3 (2.9%)
50歳代	24 (23.5%)	5 (4.9%)	19 (18.6%)	八幡東区	13 (12.7%)	7 (6.9%)	6 (5.9%)
60歳代	26 (25.5%)	17 (16.7%)	9 (8.8%)	八幡西区	23 (22.5%)	8 (7.8%)	15 (14.7%)
70歳以上	10 (9.8%)	7 (6.9%)	3 (2.9%)	戸畑区	7 (6.9%)	2 (2.0%)	5 (4.9%)

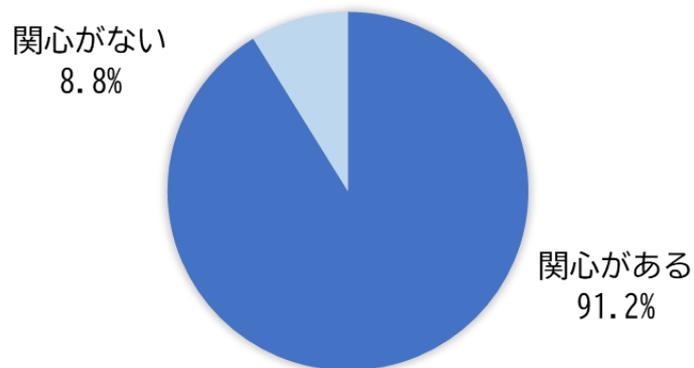
※ 数値の単位未満は四捨五入を原則としており、総数と内容の合計は一致しない場合があります。

※ 年代は令和7年4月1日時点でのものです。

Ⅲ 調査結果

【北九州市の財政状況について】

問1 北九州市の財政状況に関心がありますか。(1つ選択)



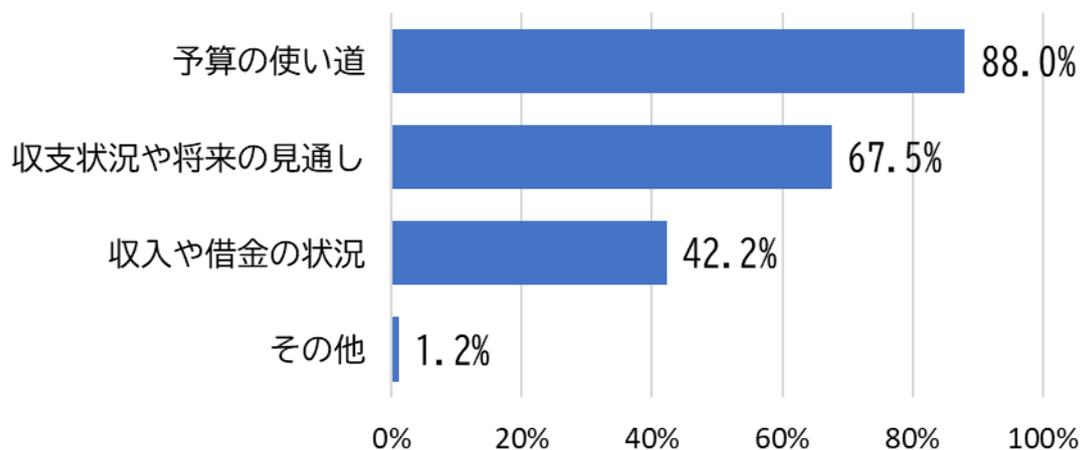
		回答者数	関心がある	関心がない
全体		91	91.2%	8.8%
性別	男性	42	90.5%	9.5%
	女性	49	91.8%	8.2%
年齢別	10・20歳代	3	66.7%	33.3%
	30歳代	14	100.0%	0.0%
	40歳代	20	90.0%	10.0%
	50歳代	20	95.0%	5.0%
	60歳代	24	91.7%	8.3%
	70歳以上	10	80.0%	20.0%
区別	門司区	12	91.7%	8.3%
	小倉北区	19	94.7%	5.3%
	小倉南区	18	100.0%	0.0%
	若松区	4	75.0%	25.0%
	八幡東区	11	100.0%	0.0%
	八幡西区	20	75.0%	25.0%
	戸畑区	7	100.0%	0.0%

北九州市の財政について、「関心がある」と回答した方は91.2%、「関心がない」と回答した方は8.8%でした。

年齢別では、30歳～60歳代は9割を超える方が「関心がある」のに対し、20歳代以下は66.7%と、比較的関心が低くなっています。

<問1で「1 関心がある」と回答した方に質問です。>

問2 どんなことに関心がありますか。(あてはまるもの全てを選択)

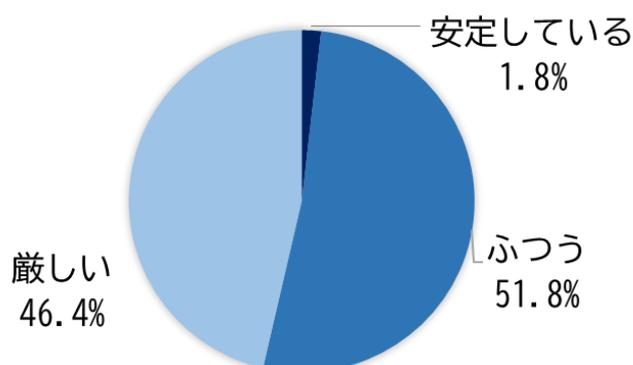


		回答者数	予算の使い道	収支状況や 将来の見通し	収入や借金の 状況	その他
全体		83	88.0%	67.5%	42.2%	1.2%
性別	男性	38	84.2%	65.8%	42.1%	2.6%
	女性	45	91.1%	68.9%	42.2%	0.0%
年齢別	10・20歳代	2	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%
	30歳代	14	100.0%	64.3%	57.1%	0.0%
	40歳代	18	83.3%	72.2%	16.7%	0.0%
	50歳代	19	78.9%	73.7%	57.9%	0.0%
	60歳代	22	90.9%	50.0%	36.4%	0.0%
	70歳以上	8	87.5%	87.5%	50.0%	12.5%
区別	門司区	11	100.0%	54.5%	36.4%	9.1%
	小倉北区	18	83.3%	66.7%	44.4%	0.0%
	小倉南区	18	88.9%	55.6%	33.3%	0.0%
	若松区	3	66.7%	100.0%	66.7%	0.0%
	八幡東区	11	90.9%	72.7%	36.4%	0.0%
	八幡西区	15	93.3%	66.7%	40.0%	0.0%
	戸畑区	7	71.4%	100.0%	71.4%	0.0%

関心の対象は、「予算の使い道」が88.0%と最も多く、次に「収支状況や将来の見通し」67.5%となっています。

<問2で「1 収支状況や将来の見通し」と回答した方に質問です。>

問3 本市の収支状況、将来の見通しについて、どのようなイメージを持っていますか。(1つ選択)



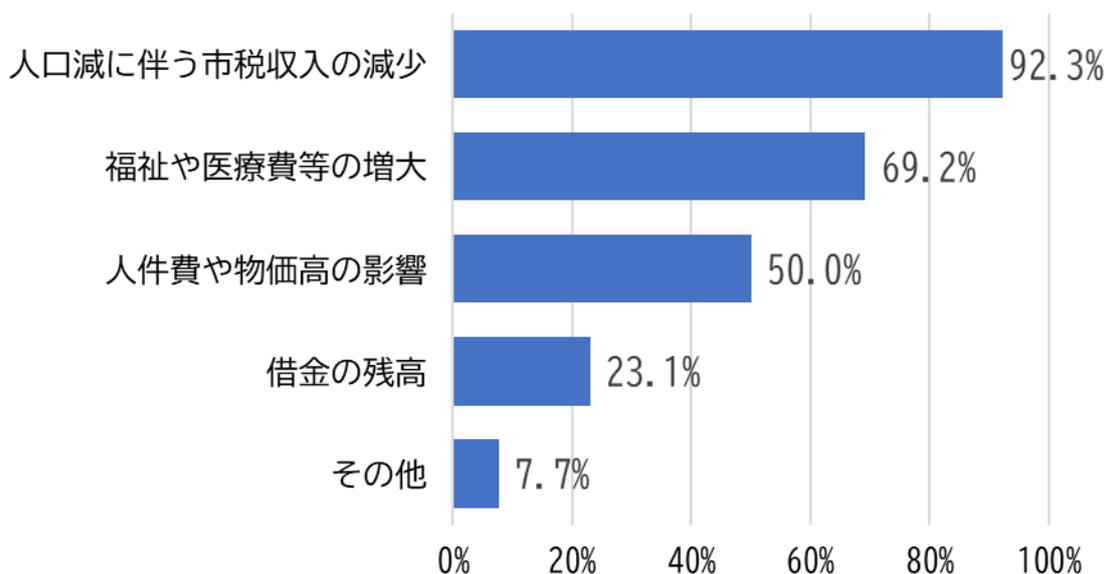
		回答者数	安定している	ふつう	厳しい
全体		56	1.8%	51.8%	46.4%
性別	男性	25	0.0%	56.0%	44.0%
	女性	31	3.2%	48.4%	48.4%
年齢別	10・20歳代	2	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳代	9	0.0%	55.6%	44.4%
	40歳代	13	7.7%	53.8%	38.5%
	50歳代	14	0.0%	35.7%	64.3%
	60歳代	11	0.0%	54.5%	45.5%
	70歳以上	7	0.0%	57.1%	42.9%
区別	門司区	6	0.0%	33.3%	66.7%
	小倉北区	12	8.3%	33.3%	58.4%
	小倉南区	10	0.0%	60.0%	40.0%
	若松区	3	0.0%	66.7%	33.3%
	八幡東区	8	0.0%	75.0%	25.0%
	八幡西区	10	0.0%	50.0%	50.0%
	戸畑区	7	0.0%	57.1%	42.9%

「収支状況や将来の見通し」に関心がある方のうち46.4%の方が、本市のその状況について「厳しい」イメージを持っています。反対に「安定している」と回答した方は1.8%でした。

<問3で「3 厳しい」と回答した方に質問です。>

問4 本市の将来において、どのような部分が厳しいと感じていますか。

(あてはまるもの全てを選択)

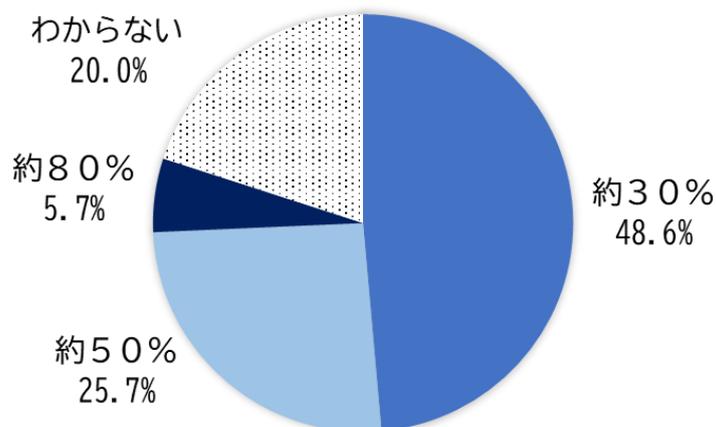


		回答者数	人口減に伴う市税収入の減少	福祉や医療費等の増大	人件費や物価高の影響	借金の残高	その他
全体		26	92.3%	69.2%	50.0%	23.1%	7.7%
性別	男性	11	90.9%	54.5%	45.5%	27.3%	18.2%
	女性	15	93.3%	80.0%	53.3%	20.0%	0.0%
年齢別	10・20歳代	0	—	—	—	—	—
	30歳代	4	100.0%	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	5	80.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	9	100.0%	88.9%	55.6%	44.4%	11.1%
	60歳代	5	80.0%	20.0%	60.0%	40.0%	20.0%
	70歳以上	3	100.0%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%
区別	門司区	4	100.0%	75.0%	50.0%	25.0%	25.0%
	小倉北区	7	85.7%	57.1%	42.9%	28.6%	14.3%
	小倉南区	4	100.0%	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	若松区	1	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	2	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	八幡西区	5	80.0%	80.0%	40.0%	40.0%	0.0%
	戸畑区	3	100.0%	66.7%	100.0%	33.3%	0.0%

本市財政の将来を「厳しい」と感じる理由は、「人口減に伴う市税収入の減少」92.3%が最も多く、「福祉や医療費等の増大」69.2%、「人件費や物価の影響」50.0%と続いています。

<問2で「3 収入や借金の状況」と回答した方に質問です。>

問5 本市の歳入は全体で約6,000億円ですが、このうち本市独自の財源である市税収入はどのくらいだと思いますか。(1つ選択)

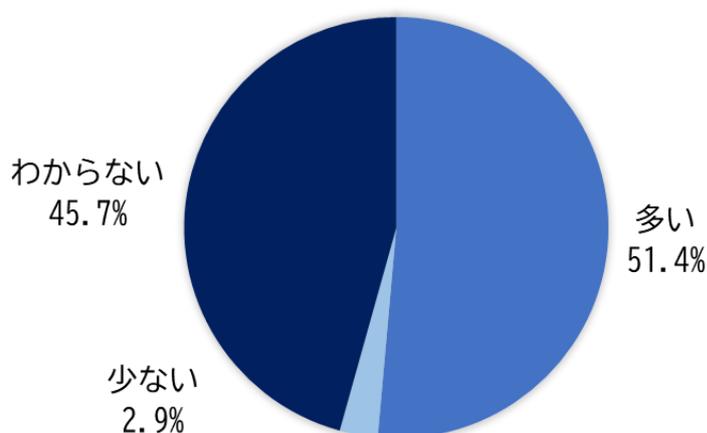


		回答者数	約30%	約50%	約80%	わからない
全体		35	48.6%	25.7%	5.7%	20.0%
性別	男性	16	43.8%	31.3%	6.2%	18.7%
	女性	19	52.6%	21.1%	5.2%	21.1%
年齢別	10・20歳代	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳代	8	50.0%	37.5%	0.0%	12.5%
	40歳代	3	33.4%	33.3%	0.0%	33.3%
	50歳代	11	45.4%	18.2%	9.1%	27.3%
	60歳代	8	62.5%	25.0%	0.0%	12.5%
	70歳以上	4	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%
区別	門司区	4	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%
	小倉北区	8	50.0%	37.5%	0.0%	12.5%
	小倉南区	6	33.3%	16.7%	0.0%	50.0%
	若松区	2	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	八幡東区	4	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%
	八幡西区	6	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	戸畑区	5	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%

本市の歳入約6,000億円のうち、本市の独自財源である市税収入の割合は約30%ですが、正解した方は48.6%と回答者のおよそ半数でした。

<問2で「3 収入や借金の状況」と回答した方に質問です。>

問6 地方自治体では、世代間の負担を公平にするため、借金をして（ローンを組んで）施設の整備などを行っていますが、本市の借金は、他の政令指定都市と比べて多いと思いますか。（1つ選択）

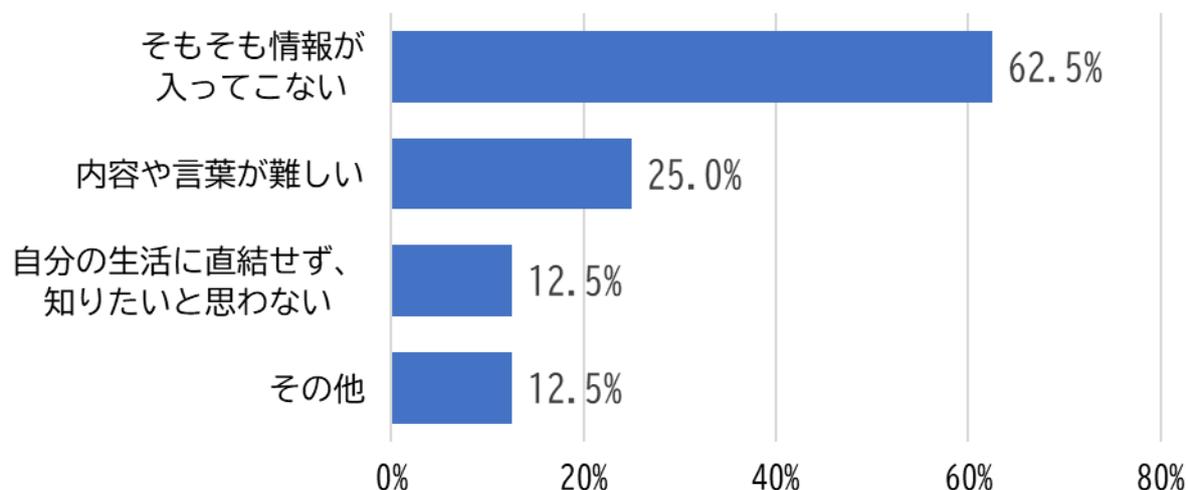


		回答者数	多い	少ない	わからない
全体		35	51.4%	2.9%	45.7%
性別	男性	16	62.5%	6.2%	31.3%
	女性	19	42.1%	0.0%	57.9%
年齢別	10・20歳代	1	0.0%	0.0%	100.0%
	30歳代	8	12.5%	0.0%	87.5%
	40歳代	3	33.4%	33.3%	33.3%
	50歳代	11	54.5%	0.0%	45.5%
	60歳代	8	87.5%	0.0%	12.5%
	70歳以上	4	75.0%	0.0%	25.0%
区別	門司区	4	75.0%	0.0%	25.0%
	小倉北区	8	50.0%	0.0%	50.0%
	小倉南区	6	33.3%	0.0%	66.7%
	若松区	2	50.0%	0.0%	50.0%
	八幡東区	4	25.0%	0.0%	75.0%
	八幡西区	6	66.6%	16.7%	16.7%
	戸畑区	5	60.0%	0.0%	40.0%

本市の借金が「多い」と回答した方は51.4%であるのに対し、「少ない」と回答した方は2.9%となっています

<問1で「2 関心がない」と回答した方に質問です。>

問7 関心がないのはなぜですか。(あてはまるもの全てを選択)

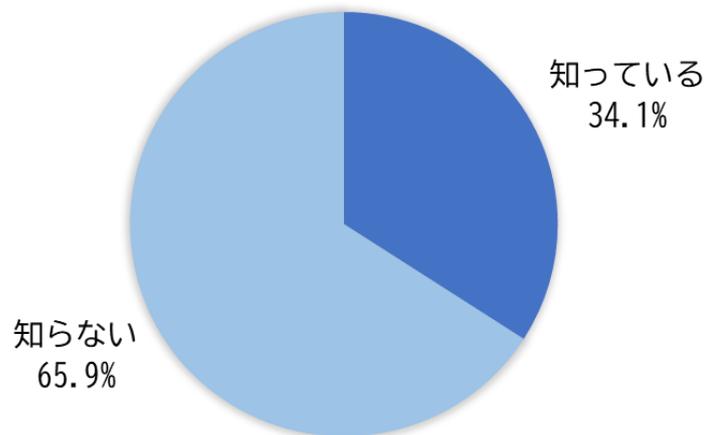


		回答者数	そもそも情報が 入ってこない	内容や言葉が 難しい	自分の生活に 直結せず、 知りたいと 思わない	その他
全体		8	62.5%	25.0%	12.5%	12.5%
性別	男性	4	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%
	女性	4	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%
年齢別	10・20歳代	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	0	—	—	—	—
	40歳代	2	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	1	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	60歳代	2	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%
	70歳以上	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	小倉北区	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	小倉南区	0	—	—	—	—
	若松区	1	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	八幡東区	0	—	—	—	—
	八幡西区	5	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	戸畑区	0	—	—	—	—

本市の財政に「関心がない」と回答した方のその理由として、「そもそも情報が入ってこない」が62.5%、「内容や言葉が難しい」が25.0%、「自分の生活に直結せず、知りたいと思わない」が12.5%となっています。

問8 「財政の模様替え」について

本市は、歳入の確保や、令和5年度に行った全事業（約3000事業）の棚卸しなど事業の見直しによって生み出した財源を活用し、次世代への投資を行う「財政の模様替え」に取り組んでいることを知っていますか。（1つ選択）



		回答者数	知っている	知らない
全体		91	34.1%	65.9%
性別	男性	42	33.3%	66.7%
	女性	49	34.7%	65.3%
年齢別	10・20歳代	3	33.3%	66.7%
	30歳代	14	28.6%	71.4%
	40歳代	20	10.0%	90.0%
	50歳代	20	45.0%	55.0%
	60歳代	24	50.0%	50.0%
	70歳以上	10	30.0%	70.0%
区別	門司区	12	50.0%	50.0%
	小倉北区	19	47.4%	52.6%
	小倉南区	18	16.7%	83.3%
	若松区	4	50.0%	50.0%
	八幡東区	11	54.5%	45.5%
	八幡西区	20	20.0%	80.0%
	戸畑区	7	14.3%	85.7%

「財政の模様替え」を「知っている」方は34.1%となっています。年齢別では、50歳代が45.0%、60歳代が50.0%と他の年代と比べて高くなっています。

<問8で「1 知っている」と回答した方に質問です。>

問9 この「財政の模様替え」についてご意見がありましたら教えてください。

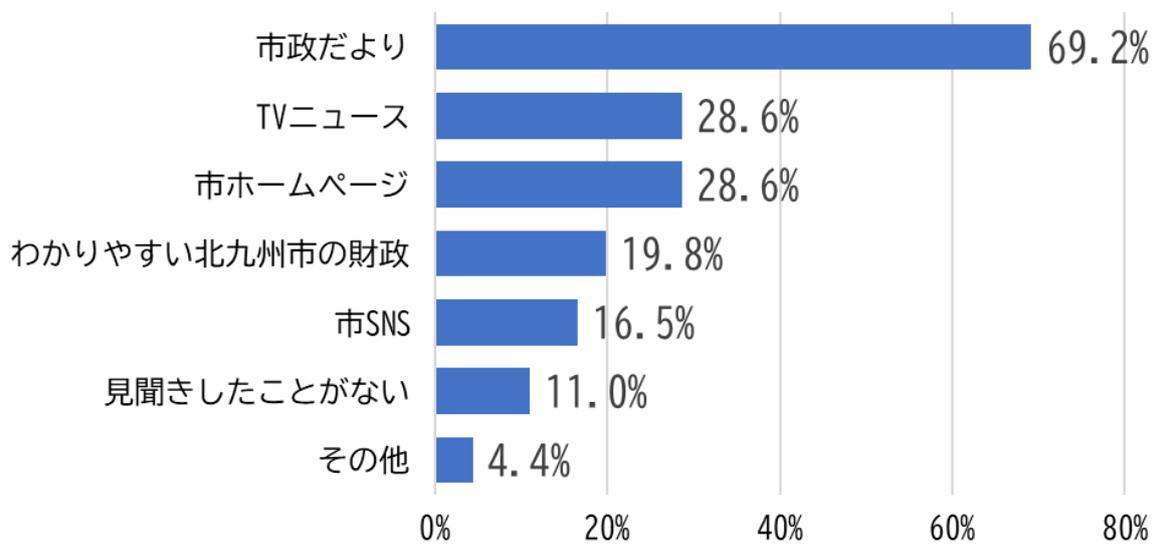
(自由記述)

「財政の模様替え」について、以下の通りご意見をいただきました（主なもの）。

- ・良い取り組みだと思う。投資をしなければ次の芽はでてきません。
- ・積極的に財政の模様替えを行って良いと思います。
- ・事業の棚卸し及び役割を終えた建物などの処分で得た収入を財源にして、将来への投資を行うことに共感します。
- ・まだ抜本的な模様替えはできていない印象です。
- ・見直しによる財源は使わずに借金を返すという方法もあると思います。
- ・次世代への投資は必要です。必要分は確保しつつ、新たな事業を創出していくことにより、経済を活性化していく。
- ・財源の新たな用途について、市民の意向がより詳細に反映されるようにしてほしい。
- ・3000事業の見直しは職員の業務負担が大きいだろうが、物価高や少子化、人口変動によっても最適なバランスは変わってくるだろうから、数年に一度でも定期的に行ってほしい。
- ・市民生活が便利に、安全になるために使うことは賛成です。
- ・次世代投資する対象事業に疑問があります。
- ・高齢者福祉など必要なところは充実してほしい。
- ・次世代への投資ならば教育（教師の質の向上）にも力を入れてほしい。
- ・子どもひまわり学習塾事業の減額は、子ども達の学習力悪化の可能性が高く、是非再考、修正すべきと考えます。
- ・学校給食で物価高騰でも美味しい食を楽しんでほしいと思います。現役世代や高齢者にも優しい政策や財源確保ができると嬉しいです。
- ・以前に比べ明らかに若戸大橋の塗替えのスピードが遅くなり、赤色が強過ぎる部分があってバランスが悪いと思います。

問10 本市の財政に関することについて

これまでどこで見聞き（情報収集）しましたか。（あてはまるもの全てを選択）



		回答者数	市政だより	TVニュース	市ホームページ	わかりやすい北九州市の財政	市SNS	見聞きしたことがない	その他
全体		91	69.2%	28.6%	28.6%	19.8%	16.5%	11.0%	4.4%
性別	男性	42	73.8%	31.0%	33.3%	23.8%	14.3%	9.5%	4.8%
	女性	49	65.3%	26.5%	24.5%	16.3%	18.4%	12.2%	4.1%
年齢別	10・20歳代	3	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
	30歳代	14	78.6%	7.1%	28.6%	14.3%	0.0%	21.4%	0.0%
	40歳代	20	55.0%	30.0%	20.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%
	50歳代	20	70.0%	25.0%	30.0%	25.0%	30.0%	10.0%	10.0%
	60歳代	24	79.2%	37.5%	41.7%	29.2%	20.8%	4.2%	4.2%
	70歳以上	10	70.0%	50.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%
区別	門司区	12	66.7%	25.0%	41.7%	41.7%	16.7%	8.3%	8.3%
	小倉北区	19	57.9%	31.6%	36.8%	15.8%	21.1%	15.8%	10.5%
	小倉南区	18	66.7%	22.2%	16.7%	11.1%	5.6%	11.1%	0.0%
	若松区	4	25.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%
	八幡東区	11	90.9%	36.4%	45.5%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%
	八幡西区	20	70.0%	30.0%	20.0%	25.0%	20.0%	15.0%	0.0%
	戸畑区	7	100.0%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%

本市の財政に関する情報を何から得ているかについて、「市政だより」69.2%が一番多く、「TVニュース」、「市ホームページ」が28.6%という結果となりました。市政だよりは、30歳代以上を中心に、市政に関する重要な情報源であることがうかがえます。

問11 本市の財政に関する情報発信について

既に実施している広報媒体での工夫のほか、新たな情報発信の方法などについて、ご提案がありましたら教えてください。(自由記述)

財政に関する情報発信について、以下の通りご意見をいただきました(主なもの)。

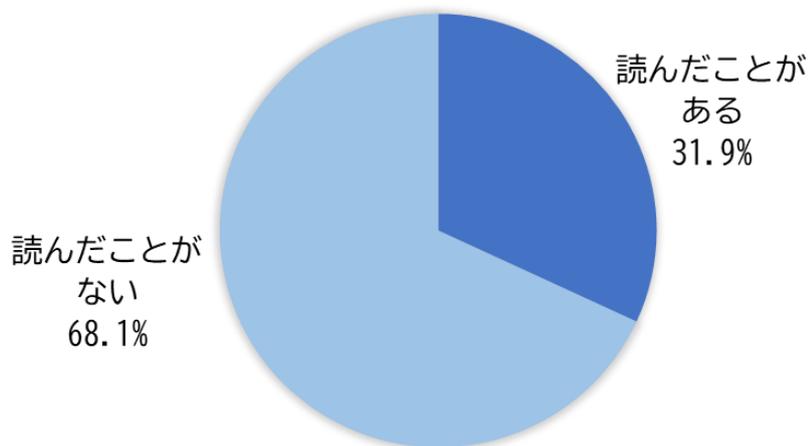
- ・ 財政は制度が分かりにくく、説明に専門用語も多用されるので、なかなか周知されにくい。しかし市民の生活に密接に関連することも事実であるから、さまざまな機会に分かり易い方法で理解を広める必要があると思います。利用可能なあらゆる媒体を活用すべきです。
- ・ 様々な媒体を広く利用することで、目に留まり、関心を持つことから始まると思います。
- ・ 収支報告について、より詳しく市民に情報開示すべきと思います。儲かっている部分と、儲かっていない部分についても市民に分かりやすく開示すべきと思います。
- ・ より分かりやすい市の人件費内訳の情報がほしいです。
- ・ 赤字部門は、市民の声も聴いて良いアイデアがないか検討すべきと思います。
- ・ 高齢化により医療費が増えますが、今後は高齢者の財政意識が重要だと思います。毎月の市政だよりに医療費を削減するための工夫、健康チェックと病気にならない対策を紹介するなど、医療費削減を市民が努力するような発信をすると良いと思います。
- ・ 市政だよりが昔から大好きです。お年寄りが多いので、必ずしもSNSだけではなく幅広く世帯に情報が伝わると嬉しいです。
- ・ 私は高齢者です。色々な情報発信が行われている様でも、やはり市政だよりが一番身近で、紙面で読む方が解り易い。難しい言葉ではなく、図や身近な短い言葉を用いているなど、考えて作成されると良いと思います
- ・ 市政だよりで、定期的に人の目が触れる機会を増やすと良いと思います。
- ・ 市政だよりによる財政に関する情報はあまり印象がありません。もう少し、工夫が望まれます。
- ・ 市の情報は基本市政だよりのみなのでそこで紹介していただき、詳しくはURLを載せていただくと情報収集しやすくなります。
- ・ 市ホームページや市政だよりで良いと思います。
- ・ 市ホームページの更なる充実化。これを見れば、北九州市の取り組み、事業の進捗状況と結果、様々な統計データなど、全てが市民に分かるように市が積極的に情報発信を行ってほしいです。

- ・北九州市のLINEをよく活用しているので、そちらで発信してもらえるとより手軽に関心を持てると思いました。
- ・公式LINEでちょっとした動画とか配信されてみてはどうでしょうか。
- ・動画配信やSNSで、簡潔に見られるようにしてほしいです。
- ・SNS等で発信するのも良いのではないのでしょうか。
- ・SNSで分かりやすく発信した方が、特に若年層に対しては伝わりやすいかと思います。また小中高での学校教育の段階から、そういった市税など財政について学ぶ機会がより多いと良いかもしれません。情報に触れる機会が多ければ多いほど、各人の興味関心のどこかに引っかかるのではないかと思います。
- ・市ホームページやSNSの登録をしている人や層は限られています。区役所や市民センターも同様、どれだけの人が利用し、手に取っているかを考えるべきです。
- ・小学校の生活や社会の授業などで、発信していくようにすれば良いと思う。
- ・学校等へのアプローチにより子どもの頃から市政へ興味を持ってもらうと良いと思います。
- ・選挙権のある高校生以上には、学校教育で教えても良いのではないのでしょうか。
- ・市民センター等で行っている生涯学習事業でチラシ等配布してはどうでしょうか。
- ・いろいろなお店のトイレに貼り紙をするといいと思います。
- ・普段の生活で見聞きしたり自ら情報をとりに行ったりすることは少ないが、役所での手続きの待ち時間などに映像や冊子等で見られると時間の有効活用ができて良いと思います。
- ・冊子「マンガで読める！わかりやすい北九州市の財政」は、毎年、読んでいます。とてもわかりやすく良いものだと思いますが、紙媒体は、資源の無駄で、印刷費も高そうですので、SNSや市ホームページだけでも良いと思います。

【冊子「マンガで読める！わかりやすい北九州市の財政」について】

問12 「マンガで読める！わかりやすい北九州市の財政」について

本市では、市の財政運営を市民の皆様に分かりやすく、楽しくご理解いただけるように冊子「マンガで読める！わかりやすい北九州市の財政」（以下、「冊子」という）を作成しています。この冊子を読んだことがありますか。（1つ選択）

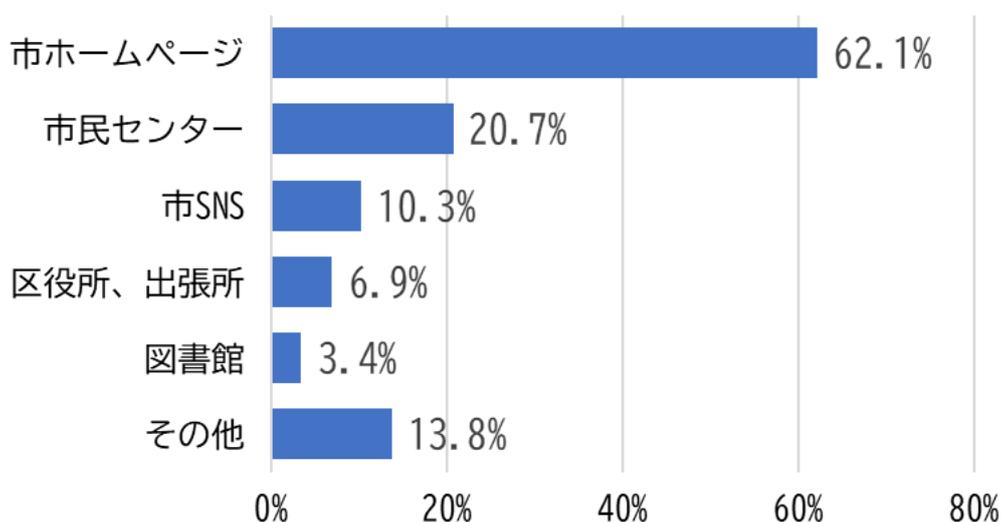


		回答者数	読んだことがある	読んだことがない
全体		91	31.9%	68.1%
性別	男性	42	35.7%	64.3%
	女性	49	28.6%	71.4%
年齢別	10・20歳代	3	0.0%	100.0%
	30歳代	14	28.6%	71.4%
	40歳代	20	10.0%	90.0%
	50歳代	20	30.0%	70.0%
	60歳代	24	50.0%	50.0%
	70歳以上	10	50.0%	50.0%
区別	門司区	12	50.0%	50.0%
	小倉北区	19	31.6%	68.4%
	小倉南区	18	22.2%	77.8%
	若松区	4	50.0%	50.0%
	八幡東区	11	27.3%	72.7%
	八幡西区	20	35.0%	65.0%
	戸畑区	7	14.3%	85.7%

冊子「マンガで読める！わかりやすい北九州市の財政」について、「読んだことがある」方は31.9%となっています。年齢別にみると、60歳以上は50%の方が読んでおり、他と比べて高くなっています。

<問12で「1 読んだことがある」と回答した方に質問です。>

問13 この冊子をどこで読みましたか。(あてはまるもの全てを選択)

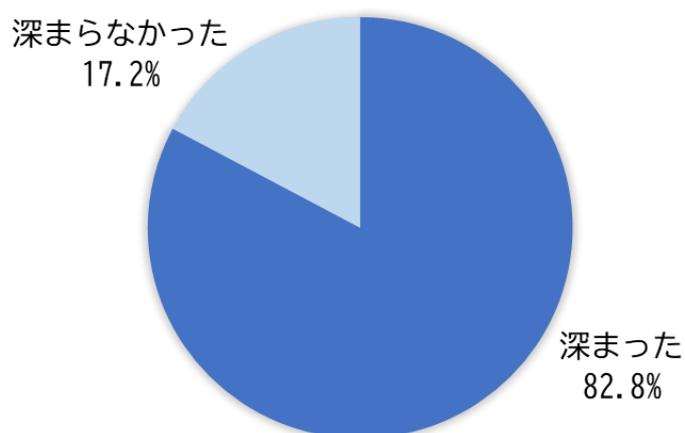


		回答者数	市ホーム ページ	市民 センター	市SNS	区役所、 出張所	図書館	その他
全体		29	62.1%	20.7%	10.3%	6.9%	3.4%	13.8%
性別	男性	15	60.0%	20.0%	6.7%	13.3%	6.7%	6.7%
	女性	14	64.3%	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%	21.4%
年齢別	10・20歳代	0	—	—	—	—	—	—
	30歳代	4	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	40歳代	2	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	6	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	60歳代	12	50.0%	25.0%	8.3%	16.7%	8.3%	16.7%
	70歳以上	5	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
区別	門司区	6	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%
	小倉北区	6	83.3%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%
	小倉南区	4	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	若松区	2	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	八幡東区	3	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	八幡西区	7	57.1%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%
	戸畑区	1	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

この冊子をどこで読んだかについて、「市ホームページ」が62.1%と、他と比べ高くなっています。続いて、「市民センター」20.7%、「市SNS」10.3%となっています。

<問12で「1 読んだことがある」と回答した方に質問です。>

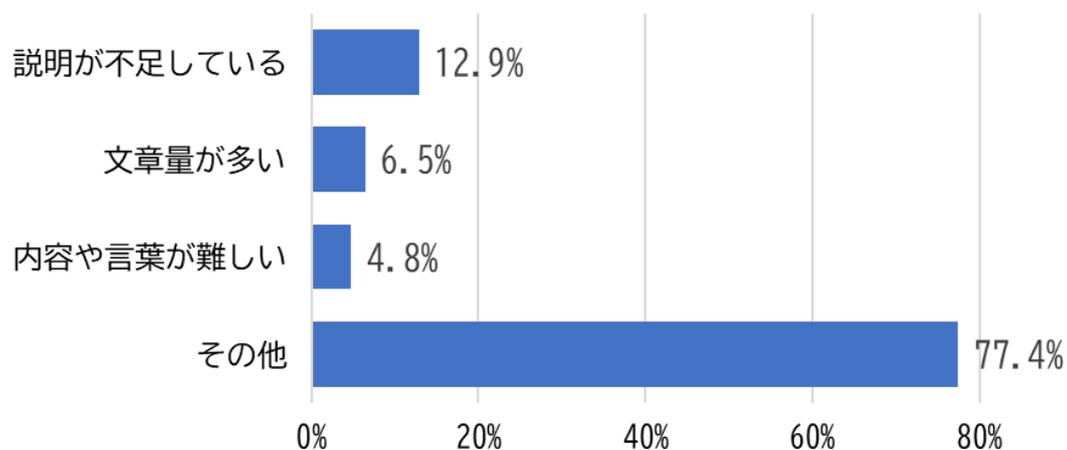
問14 この冊子を読んで、本市の財政運営への理解は深まりましたか。(1つ選択)



		回答者数	深まった	深まらなかった
全体		29	82.8%	17.2%
性別	男性	15	80.0%	20.0%
	女性	14	85.7%	14.3%
年齢別	10・20歳代	0	—	—
	30歳代	4	75.0%	25.0%
	40歳代	2	100.0%	0.0%
	50歳代	6	83.3%	16.7%
	60歳代	12	83.3%	16.7%
	70歳以上	5	80.0%	20.0%
区別	門司区	6	83.3%	16.7%
	小倉北区	6	100.0%	0.0%
	小倉南区	4	75.0%	25.0%
	若松区	2	100.0%	0.0%
	八幡東区	3	33.3%	66.7%
	八幡西区	7	100.0%	0.0%
	戸畑区	1	0.0%	100.0%

この冊子を読んで、本市の財政運営への理解が「深まった」と回答した方は82.8%となっています。

<問12で「2 読んだことがない」と回答した方に質問です。>
 問15 その理由は何ですか。(あてはまるもの全てを選択)

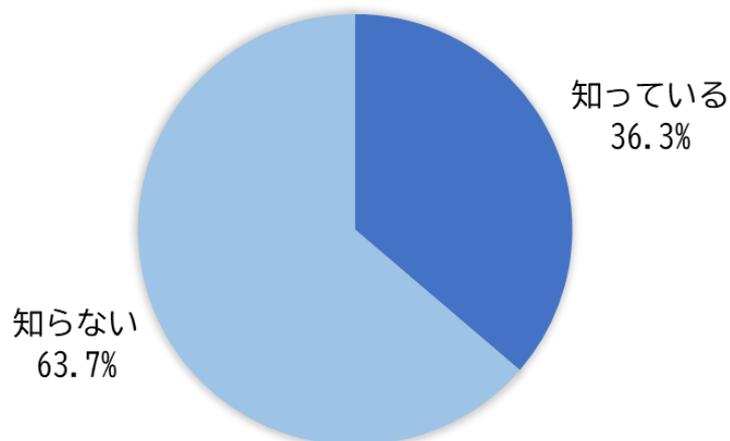


		回答者数	説明が不足している	文章量が多い	内容や言葉が難しい	その他
全体		62	12.9%	6.5%	4.8%	77.4%
性別	男性	27	22.2%	7.4%	11.1%	63.0%
	女性	35	5.7%	5.7%	0.0%	88.6%
年齢別	10・20歳代	3	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	30歳代	10	10.0%	10.0%	10.0%	80.0%
	40歳代	18	22.2%	11.1%	5.6%	61.1%
	50歳代	14	0.0%	7.1%	0.0%	92.9%
	60歳代	12	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%
	70歳以上	5	20.0%	0.0%	20.0%	60.0%
区別	門司区	6	50.0%	16.7%	0.0%	33.3%
	小倉北区	13	15.4%	7.7%	7.7%	76.9%
	小倉南区	14	0.0%	0.0%	7.1%	92.9%
	若松区	2	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	八幡東区	8	12.5%	0.0%	0.0%	87.5%
	八幡西区	13	15.4%	7.7%	7.7%	69.2%
	戸畑区	6	0.0%	16.7%	0.0%	83.3%

この冊子を「読んだことがない」理由は、「存在を知らない」が一番多い（「その他」と回答した方の7割以上）結果となりました。

【市政変革の取り組み】

問16 本市が進めている市政変革の取り組みを知っていますか。(1つ選択)

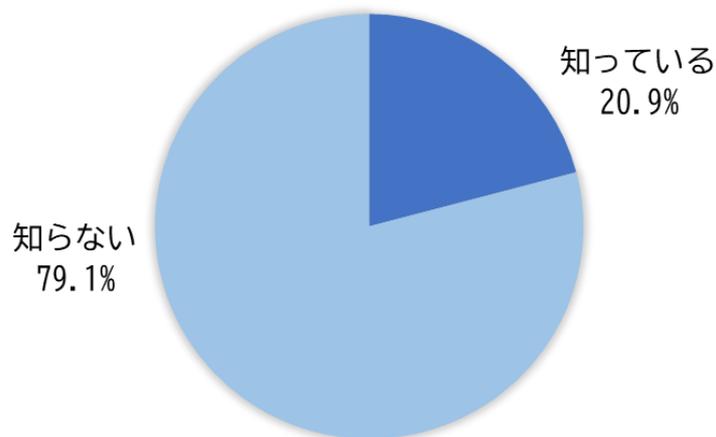


		回答者数	知っている	知らない
全体		91	36.3%	63.7%
性別	男性	42	40.5%	59.5%
	女性	49	32.7%	67.3%
年齢別	10・20歳代	3	33.3%	66.7%
	30歳代	14	35.7%	64.3%
	40歳代	20	25.0%	75.0%
	50歳代	20	40.0%	60.0%
	60歳代	24	41.7%	58.3%
	70歳以上	10	40.0%	60.0%
区別	門司区	12	33.3%	66.7%
	小倉北区	19	42.1%	57.9%
	小倉南区	18	27.8%	72.2%
	若松区	4	75.0%	25.0%
	八幡東区	11	45.5%	54.5%
	八幡西区	20	30.0%	70.0%
	戸畑区	7	28.6%	71.4%

市政変革を「知っている」方は36.3%、年齢別では、50歳以上の方は40%以上で、40歳代以下の方と比べて高くなっています。

問17 X会議（市政変革会議）について

本市では、市政変革の議論をX会議（市政変革会議）で行っており、YouTubeで公開していることを知っていますか。（1つ選択）



		回答者数	知っている	知らない
全体		91	20.9%	79.1%
性別	男性	42	21.4%	78.6%
	女性	49	20.4%	79.6%
年齢別	10・20歳代	3	0.0%	100.0%
	30歳代	14	28.6%	71.4%
	40歳代	20	10.0%	90.0%
	50歳代	20	25.0%	75.0%
	60歳代	24	29.2%	70.8%
	70歳以上	10	10.0%	90.0%
区別	門司区	12	16.7%	83.3%
	小倉北区	19	21.1%	78.9%
	小倉南区	18	16.7%	83.3%
	若松区	4	50.0%	50.0%
	八幡東区	11	36.4%	63.6%
	八幡西区	20	20.0%	80.0%
	戸畑区	7	0.0%	100.0%

YouTubeでX会議を公開していることを「知っている」方は20.9%となっています。

<問17で「1 知っている」と回答した方に質問です。>

問18 X会議を視聴した感想やご意見がありましたら教えてください。

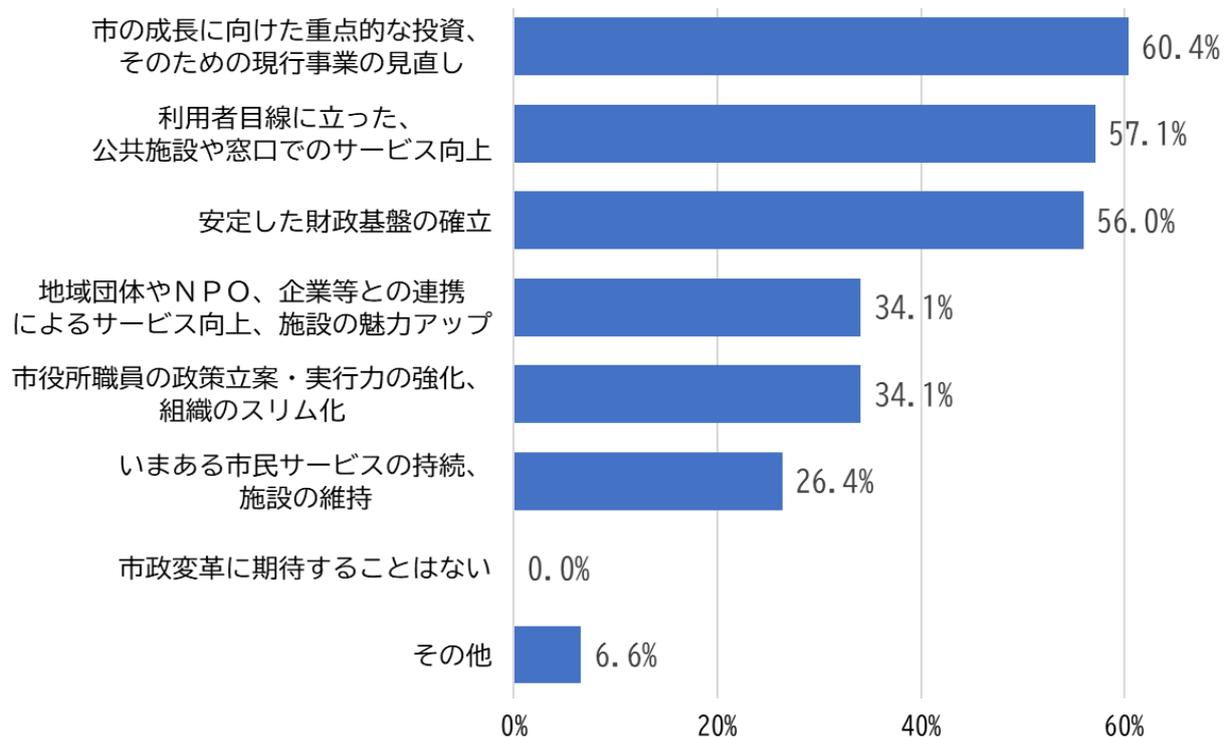
(自由記述)

以下の通り、X会議を視聴した感想やご意見をいただきました(主なもの)。

- ・ YouTubeで会議の状況、雰囲気、物事の決まり方がリアルタイムで分かることは市民に納得してもらおうという点では、大変良い取り組みだと感じています。
- ・ X会議は予算カットありきとしか思えずとても見ていて不愉快です。市長が描いた答えに向かってシナリオ通りにやっているとしか思えません。
- ・ 積極的に行っていただきたいと思います。
- ・ 色んな専門家の率直な意見は大事だし、市民も聞きたいと思います。市民からの意見も吸い上げ、市民も参加させると、より市政が身近になり、関心が向くのではないのでしょうか。
- ・ 切り抜きなどがあると良いと思います。

問19 あなたが市政変革に期待することは何ですか。

(あてはまるもの全てを選択)



		回答者数	市の成長に向けた重点的な投資、そのための現行事業の見直し	利用者目線に立った、公共施設や窓口でのサービス向上	安定した財政基盤の確立	地域団体やNPO、企業等との連携によるサービス向上、施設の魅力アップ	市役所職員の政策立案・実行力の強化、組織のスリム化	いまある市民サービスの持続、施設の維持	市政変革に期待することはない	その他
全体		91	60.4%	57.1%	56.0%	34.1%	34.1%	26.4%	0.0%	6.6%
性別	男性	42	54.8%	52.4%	54.8%	23.8%	38.1%	21.4%	0.0%	7.1%
	女性	49	65.3%	61.2%	57.1%	42.9%	30.6%	30.6%	0.0%	6.1%
年齢別	10・20歳代	3	66.7%	33.3%	100.0%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	14	71.4%	42.9%	50.0%	35.7%	28.6%	35.7%	0.0%	7.1%
	40歳代	20	50.0%	50.0%	45.0%	25.0%	35.0%	25.0%	0.0%	5.0%
	50歳代	20	75.0%	70.0%	65.0%	45.0%	35.0%	20.0%	0.0%	15.0%
	60歳代	24	50.0%	66.7%	62.5%	29.2%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	70歳以上	10	60.0%	50.0%	40.0%	30.0%	30.0%	20.0%	0.0%	10.0%
区別	門司区	12	58.3%	58.3%	50.0%	33.3%	41.7%	25.0%	0.0%	8.3%
	小倉北区	19	63.2%	42.1%	52.6%	47.4%	26.3%	26.3%	0.0%	10.5%
	小倉南区	18	33.3%	55.6%	55.6%	22.2%	22.2%	27.8%	0.0%	5.6%
	若松区	4	75.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%
	八幡東区	11	81.8%	81.8%	72.7%	36.4%	45.5%	27.3%	0.0%	0.0%
	八幡西区	20	65.0%	50.0%	60.0%	45.0%	35.0%	20.0%	0.0%	5.0%
	戸畑区	7	71.4%	85.7%	42.9%	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%

市政変革に期待することとしては、「市の成長に向けた重点的な投資、そのための現行事業の見直し」が60.4%と最も多く、次いで「利用者目線に立った、公共施設や窓口でのサービス向上」が57.1%、「安定した財政基盤の確立」が56.0%となっています。

「その他」について、以下の通りご意見をいただきました（主なもの）。

- ・子育てしやすい街になるように、また自殺をする子どもの減少を目指した子どものために使う予算をもっと増やしてほしい。
- ・赤ちゃんや年長者が暮らしやすい北九州市になってほしいです。そうすれば、だれもが暮らしやすくなるからです。すべてアプリやパソコン、携帯が当たり前のようになっていますが、わからない人は今までどおり、手書きでよいとかにしてあげてください。すごく生きづらい世の中になっている気がします。
- ・スーパーや病院などまわってあげるバスが増えるといいです。また、赤ちゃんや年長者の関係が深まるような取り組みがあるといいなと思います。年長者のもたれるたくさんの知恵が若い夫婦の元気につながるいいです。
- ・きちんと現場の声を聞いた少子化対策、本当に子育てしやすい街づくり（現在の子ども家庭庁のやり方とは違った方法で）、子育てするママパパに優しい街になれば北九州市の人口も増えてくれるかなと思っています。
- ・働きやすいではなくガッツリ働かなくても子どもと安心して過ごせるようになってほしいです。「こどもまんなか city」なら、子どもたちの声を聞いてほしいです。0～2歳児の子どもたちは誰ひとり「保育所に行きたい！」なんて思いません。お母さんお父さんだって、できれば家で育てたいと思っている人が多いと思います。昨今の物価高、税金の高さ、将来への不安から仕方なく働いている方ばかりだと思います。
- ・議会関連経費の抜本的削減、見直し、変革を行うべきです。
- ・「市」に対し愛着や情操の豊かさを感じる一つ的手段として、当市でも一般企業のミニコンサートを援助して無料コンサートを積極的に開催することを考えてみてはいかがでしょうか。現状、市内コンサート類は全て有料で結構高額で、市民が気軽に楽しむ雰囲気ではないと感じます。皆がここを住みよい街と感じることを増やすことが、北九州市の人口減少への歯止めの一つとなるのではないのでしょうか。

IV 全体考察

市政変革の取り組みを進めるにあたっては、市民の皆様に、北九州市の厳しい財政状況や市政変革についてご理解いただくことが必要です。

本アンケートは、まずは財政に関する皆様の関心度や理解度などの現状を調査し、市民の皆様と一緒に市政変革を行っていく上での今後の検討に活用するため実施したものです。

(1) 北九州市の財政状況について

まず北九州市の財政への関心度について、「関心がある」と回答した方は91.2%と、多くの市民の皆様が関心を持っていることが分かりました。その中で、20歳代以下は66.7%と比較的関心が低く、年代による違いが見受けられます。

関心の対象は、「予算の使い道」が88.0%、次に「収支状況や将来の見通し」67.5%で、「収支状況や将来の見通し」に関心がある方のうち約半数の方が、本市の状況について「厳しい」イメージを持っており、その理由については「人口減に伴う市税収入の減少」が92.3%、「福祉や医療費等の増大」が69.2%と多くなっています。

北九州市の財政に関することについて、これまでどこで見聞きしたかについて、「市政だより」は69.2%と確かな情報源となっているものの、20歳代以下はその割合が33.3%と比較的低くなっているほか、財政に関心がない方の62.5%は「そもそも情報が入ってこない」と回答しています。

さらに、本市が令和6年度より力を入れている「財政の模様替え」について、「知っている」方は34.1%となっています。

財政運営や変化する財政の取り組みについては、市民の皆様への情報共有を大前提に進めていく必要があります。年代を問わず、分かりやすい情報が行き届くよう、ターゲット毎の広報ツールなどを十分検討、工夫しながら、情報発信を強化していく必要があることを改めて認識しました。

(2) 冊子「マンガで読める！わかりやすい北九州市の財政」について

財政に関する情報発信として作成している、冊子「マンガで読める！わかりやすい北九州市の財政」について、「読んだことがある」方は31.9%、年齢別にみると、60歳以上では50%と比較的高く、年代による違いが確認できます。

一方で、「読んだことがある」方の82.8%が、冊子を読んで本市の財政運営への理解が「深まった」と回答しており、漫画を用いたわかりやすい表現を工夫していることなど、一定の効果が得られていることがうかがえます。

(3) 市政変革の取り組みについて

市政変革に期待することとして、「市の成長に向けた重点的な投資、そのための現行事業の見直し」が60.4%、「利用者目線に立った、公共施設や窓口でのサービス向上」が57.1%、「安定した財政基盤の確立」が56.0%でした。また、「市政変革に期待することはない」は0.0%であり、北九州市が進めている市政変革の取り組みに賛同するご意見を多くいただけたものと受け止めています。

一方で、市政変革を「知っている」方は36.3%、さらに、X会議（市政変革会議）をYouTubeで公開していることを「知っている」方は20.9%と一定数の方に関心を持っていただけていますが、この周知にはまだ努力の余地があると認識しています。

今後、さらに多くの方にこの取り組みを知っていただけるよう、必要な情報発信に努めながら、北九州市が未来のために今、変革すべきテーマについて議論を深め、実行していきたいと考えています。

【市政モニターに関すること】

総務市民局広聴課（TEL：582-2527）

【アンケートに関すること】

財政・変革局財政課（TEL：582-2002）

令和7年9月10日

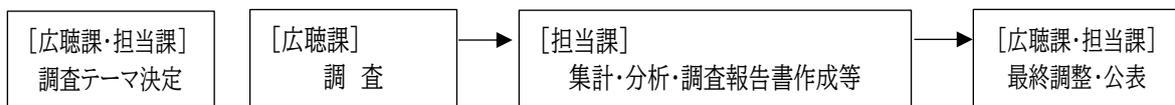
総務市民局広聴課

市政モニター制度について

1. 市政モニター制度の概要

市の様々な施策を進めるうえで、満足度や実感などの市民の声を参考とするため、毎年、公募により18歳以上の市民の方(定員150人以内)を対象に、市政モニターとして様々な分野のアンケートに協力していただいています。

2. 市政モニター調査の作業工程について



3. 令和7年度 市政モニターアンケート調査 実施予定及び公表予定

回	実施時期	件名	担当課	回収率	公表予定
1	6月2日～6月13日	地球温暖化対策に関する意識調査	環境局グリーン成長推進課	94.1%	7月
1	6月2日～6月13日	北九州市の観光振興について	都市ブランド創造局インバウンド課	93.1%	7月
2	6月16日～6月27日	北九州市の財政状況に関する意識調査	財政・変革局財政課	89.2%	9月
3	7月1日～7月14日	防災ガイドブック・ハザードマップについて	危機管理室危機管理課	—	9月
4	7月15日～7月28日	生涯学習に関する意識調査	総務市民局生涯学習課	—	10月
5	8月5日～8月18日	モラル・マナーアップについて	総務市民局安全・安心推進課	—	10月
6	8月21日～9月2日	北九州市の海辺に関する意識調査	港湾空港局計画課	—	11月
7	9月11日～9月24日	暴力追放運動について	総務市民局安全・安心推進課	—	12月
8	10月1日～10月14日	障害福祉施策について	保健福祉局障害福祉企画課	—	12月
9	11月4日～11月17日	北九州市の生物多様性について	環境局ネイチャーポジティブ推進課	—	1月
10	12月1日～12月12日	認知症支援・介護予防に関する意識調査	保健福祉局認知症支援・介護予防課	—	2月
11	12月15日～12月26日	北九州市内の身近な公園に関するアンケート	都市戦略局緑政課	—	3月

※上記については、変更の可能性があります。